

# Annual Report

**KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL**  
**Unit of Peripheral Vascular Surgery,**  
**Department of Surgery**

平成25年度 成績報告  
(含平成25年2、3月)

関西医科大学附属滝井病院 末梢血管外科

## 1. 手術統計

総手術件数 292例  
 動脈手術件数 82例

①閉塞性動脈硬化症 56例/66肢

大動脈-腸骨動脈バイパス術	1肢
腸骨(大腿)-大腿動脈交差バイパス術	7肢
大腿-膝上膝窩動脈バイパス術	14肢
大腿-膝下膝窩動脈バイパス術	2肢
腸骨(大腿)-下腿動脈バイパス術	3肢
膝窩-足部動脈バイパス術	14肢
大腿-足部動脈バイパス術	3肢
上腕-尺骨動脈バイパス術	1肢
腋窩-両側大腿動脈バイパス術	4肢
大腿動脈血栓内膜摘除術	2肢
グラフト修復術	7肢
閉塞グラフト血栓除去術	4肢
止血術	1肢
創再縫合術	2肢
大腿動脈修復術	1肢

②急性動脈閉塞 1例/1肢

下肢	1肢
----	----

③動脈瘤 17例

腹部大動脈瘤	12例
うちステントグラフト内挿術	7例
うち破裂例	1例
腸骨動脈瘤	1例

膝窩動脈瘤	1例
遺残坐骨動脈瘤	1例
仮性大腿動脈瘤	1例
感染性仮性大腿動脈瘤	1例

### 血管内治療(放射線科と共同で施行)

1. 経皮的血管拡張術(+stent留置術)	24例
死亡	0例
初期成功例	23例(96%)
2. coil塞栓術	
ステントグラフト術後エンドリーク	3例
ステントグラフト前処置	2例

### 静脈手術件数 108例

下肢静脈瘤	108例
大伏在静脈、不全交通枝結紮術	3例
静脈ストリッピング術	15例
血管内レーザー焼灼術	84例
血栓化静脈瘤摘出術	6例

### ブラッドアクセス手術件数 102例

内シャント造設術	94例
人工血管シャント造設術	1例
テシオカテーテル挿入術	2例
シャント閉鎖術	3例
シャント瘤修復術	1例
感染性破裂性シャント瘤修復術	1例

## 2. 手術成績

### 閉塞性動脈硬化症

- 手術死亡 1例  
 64歳男性(糖尿病、虚血性心疾患、脳梗塞後、足部潰瘍症例):大腿-足部動脈バイパス術後1日目 肺血栓塞栓症で死亡
- 病院死亡 1例  
 65歳女性(40年来の透析患者、足関節部までの壊死):大腿-膝下膝窩動脈バイパス術後38日目 敗血症で死亡
- 早期バイパス閉塞 4例  
 大腿-膝窩動脈バイパス閉塞1例(血栓除去にて再開通)

- 足部動脈バイパス閉塞3例(うち2例は血液凝固異常合併、1例は血栓除去にて再開通)
- 術後下肢大切断 2例  
 足部バイパス早期閉塞例1例と来院時より下腿切断予定例 1例

### 動脈瘤

- 手術死亡 0(破裂例含む)
- 術後合併症 0

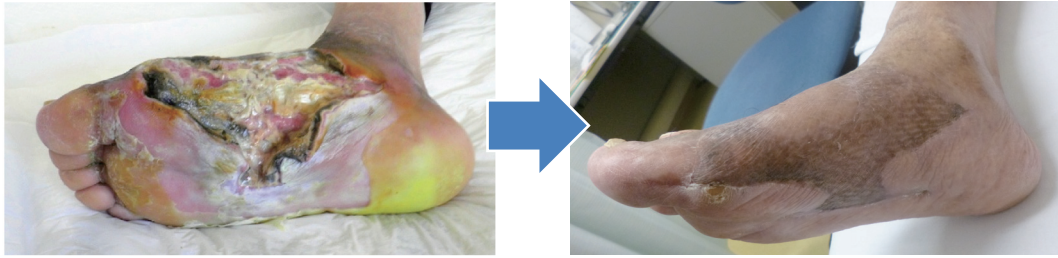
### 静脈瘤

- 合併症 0

### 3. トピックス

#### ①広範囲虚血性潰瘍例の救肢

60歳男性、未治療の糖尿病合併例。足底の傷を契機に難治性潰瘍に。検査にて足部虚血ありと判明。抗生剤治療ののち膝窩-足背動脈バイパス術を自家静脈を用いて施行。術後吻合部が潰瘍に近いため感染を危惧したが経過良好。二次的デブリドメントおよび植皮術を経て潰瘍は完治。自力歩行で退院し現在術後1年を経過して問題なく外来フォロー中。広範囲の潰瘍も完全血行再建を十分な血流量を確保出来るバイパス術によって行うことで救肢できることが証明された一例である。

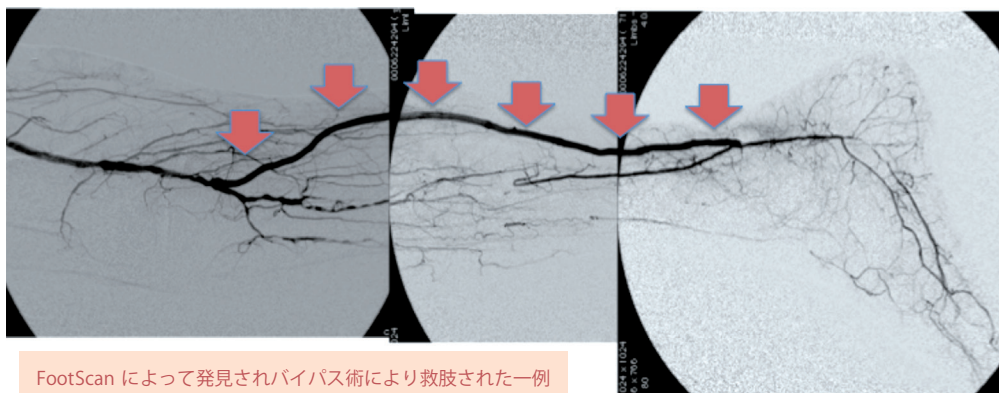


#### ②大阪赤十字病院で血管外科外来を開設

末梢動脈疾患に対する総合的な治療を行っている施設は全国的にも少なく、大学病院としては関西地区には当大学のみである。大阪市内も専門施設がなく、当科開設後も市中病院や家庭医の方々のご要望が強く、大阪市内での血管外科外来を検討した。大阪赤十字病院、同心臓血管外科のご好意により月1回第二金曜日の午前と同病院で血管外科外来を開設している。大阪市内の重症末梢動脈疾患の診断、治療の一助となれば幸いである。

#### ③フットケアチームによる全入院患者の足病変発見・報告システム(滝井Foot Scan)

当院では以前より全入院患者に対し入院時に受け持ち看護師による足病のスクリーニングを行っていた。昨年6月の滝井病院フットケアチームの開設に伴いこのシステムをより有効にするためにこの「滝井Foot Scan」という新しいシステムを構築した。看護師の足病発見をすぐにフットケアチーム所属のゲートキーパーナースに連絡、そこから虚血の有無などにより血管外科または皮膚科にコンサルトするものである。このシステムを使用すると従来の主治医の判断による対診依頼に比べより早期に、的確な受診科が決まり早期からのケアや治療ができるというものである。同時に看護師によるフットケア教育も行なえ患者にとっても非常に満足度の高いシステムとなっている。このシステムにより虚血性足潰瘍が発見され下腿動脈バイパス術を施行し治癒した例もあり、全病院挙げての足病発見システムは奏功しつつある。



#### ④血管内治療センターにおける統一血管病早期発見プログラム

動脈硬化性血管病は近年アテローム血栓症や Polyvascular Disease として全身病であるとの認識に立って診療していかなければならないといわれている。そこで当院ではどの関連診療科に受診しても統一した発見プログラムで動脈硬化性血管病（心臓、脳、下肢動脈疾患、その他動脈硬化リスクファクター）を発見するプログラムを作成した。リスクの高い患者に同意を得て各種血管病スクリーニングプログラムを施行し発見された慢性疾患は家庭医にもご協力を得て早期介入していくとするものである。当プログラムを使用した患者には約40%に新たな疾患が発見されておりその効果は実証されている。

#### 統一血管病早期発見プログラム

- 診察
  - 足関節部脈拍触知
  - 頸動脈雑音
  - 血圧測定
- 尿・血液検査（一般の検査に加え）
  - 尿タンパク
  - LDLコレステロール
  - 中性脂肪
  - 空腹時血糖
- 生理機能検査
  - ECG
  - ABI
- 放射線検査
  - 胸腹部CT

#### ⑤関西医科大学枚方学舎にて「TAKE! ABI 2013 in KANSAI」主催

動脈硬化性血管病の認識を高めるため血管外科医有志で4年前より全国で同時開催している、一般市民に対しての啓発活動「TAKE! ABI」という催しがあるが、昨年は関西地区で唯一、当大学が主催して「TAKE! ABI 2013 in KANSAI」として9月16日に枚方新学舎で挙行了。一般市民の参加は無料健診219名、市民公開講座80名と、予想を上回る好評のうちに無事終了した。フットケアチームを主体としたボランティアスタッフも38名にのぼり、当日はそろいのTシャツを着て医師、看護師、検査技師、事務一体となってイベントを盛り上げた。同地区の市民の血管病に対する認識も高まり、医療サイドのチームとしての一体感も深まり有意義な催しものであった。2014年は秋に滝井地区で開催予定である。





## 4. 研 究

### ①論文

1. 山尾 順、駒井宏好、北出浩章、吉岡和彦、権 雅憲  
末梢血管疾患の検査画像ケアにつなげる・説明の  
要点がわかる臓器別術後の検査画像保存版  
消化器外科 Nursing 2013 18 : 806-810.
2. 駒井宏好、山尾 順  
足の痛みから診る末梢血管障害  
日本医事新報2013 4671 : 45-50.
3. 駒井宏好、山尾 順  
深部静脈血栓症の診断と治療  
日医雑誌2013 142 : 1981-4.
4. Komai H, Shindo S, Shigematsu H, Ogino H.  
Double tract vein graft of the lower limb: its efficacy  
as a conduit for tibial bypass. J Cardiovasc  
Surg(Torino). 2014 Mar 26. [Epub ahead of print].

### ②学会発表その他

#### 【国際学会】

1. Komai H. Case discussion: CLI patient with idiopathic  
hypotension. The 8th Korea-Japan Joint Meeting of  
Vascular Surgery, Seoul 2013
2. Komai H, Shindo S, Shigematsu H, Ogino H.  
Double tract vein graft as an alternative conduit for tibial  
bypass. 14th Congress of Asian Society for Vascul-  
lar Surgery Istanbul 2013

#### 【総 会】

##### 特別発表

1. 駒井宏好、進藤俊哉、鈴木 隼、佐藤正宏、井上  
秀範、赤坂純逸 ワークショップ5 血行再建の現状と未  
来 地域の他科との連携による下肢救済の可能性  
第11回日本フットケア学会／第5回日本下肢救  
済・足病学会合同学術集会 横浜 2013
2. 駒井宏好 ビデオシンポジウム 私の“こだわりの”手術  
手技：膝下病変に対する外科治療戦略 inframalle-  
olar distal bypass の手術手技  
第43回日本心臓血管外科学会 東京 2013
3. 駒井宏好 ビデオシンポジウム2 下腿3分枝以下への  
動脈再建の工夫 Paramalleolar bypass から  
inframalleolar bypass へ：現代における末梢血

### 管外科医へのニーズ

第41回日本血管外科学会 大阪 2013

### 一般演題

1. 山尾順、駒井宏好、橋本健太、吉岡和彦、権 雅憲  
広範囲組織欠損を伴う糖尿病性足病変に対する  
下腿動脈バイパスの1例  
第54回日本脈管学会 東京 2013

### 座 長

1. 駒井宏好 シンポジウム3 重症虚血肢における治療  
戦略の進歩 —バイパス手術と血管内治療の使い  
分け、合併症へのアプローチ—  
第41回日本血管外科学会 大阪 2013
2. 駒井宏好 ランチョンセミナー2-4  
「EVT 領域の抗血小板療法を考える」  
Japan Endovascular Treatment conference 東京2014
3. 駒井宏好 パネルディスカッション3 重症膝下病変に対す  
る治療選択—バイパス手術と血管内治療—  
第44回日本心臓血管外科学会 熊本 2014

### 【地方会】

1. 山尾順、駒井宏好 フットケアチームによる足病変  
発見からバイパス術に至った重症虚血肢の一治験例  
第28回日本血管外科近畿地方会 神戸 2014

### 【講 演】

駒井宏好

1. 閉塞性動脈硬化症治療の実際—心臓血管外科医の  
薬物療法—第43回日本心臓血管外科学会 ランチ  
ョンセミナー 東京 2013. 2. 24
2. 閉塞性動脈硬化症の診断と治療 大阪市旭区医師  
会と関西医科大学附属滝井病院との懇談会 大阪  
2013. 3. 2
3. エビデンスからみた閉塞性動脈硬化症治療  
ATIS スペシャルレクチャー 東京 2013. 3. 10
4. 閉塞性動脈硬化症の診断と治療 末梢血管疾患ク  
リニカルフォーラム 大阪 2013. 6. 27

5. 閉塞性動脈硬化症の内科的・外科的治療 福井血管外科ATIS 座談会 特別講演 福井 2013. 6. 28
6. 閉塞性動脈硬化症の診断と治療 第16回腎高血圧プライマリーケアセミナー 特別講演 守口 2013. 7. 13
7. 日常診療に役立つ閉塞性動脈硬化症の診断と治療 地域医療連携座談会 -PAD治療戦略について- 大阪 2013. 7. 20
8. 末梢動脈バイパス術の長期開存にむけて 第16回大阪心臓血管外科研究会 特別講演 大阪 2013. 7. 26
9. 糖尿病患者における閉塞性動脈硬化症の治療戦略 -早期発見の工夫とコツ- 北河内糖尿病療養指導研究会 特別講演 守口 2013. 8. 3
10. 全身の動脈硬化を早期発見!! ~足は動脈硬化の窓~ 第16回関西医科大学附属滝井病院 市民公開 講座 守口 2013. 9. 7
11. 動脈硬化はがんより怖い!? TAKE! ABI 2013 in KANSAI 市民公開講座 枚方 2013. 9. 16
12. 閉塞性動脈硬化症の内科的・外科的治療 患者のQOLを考える会 特別講演 大阪 2013. 9. 25
13. 糖尿病を合併した閉塞性動脈硬化症の診断と治療 第20回寝屋川糖尿病談話会 特別講演 大阪 2013. 10. 5
14. フットケアを基本とした閉塞性動脈硬化症の治療戦略—病院、地域ぐるみの血管病征圧— 第10回 日本フットケア学会鎌倉セミナー ランチョンセミナー4 鎌倉 2013. 10. 12
15. 新設血管外科としての新たな取り組み 地域ぐるみの血管病征圧にむけて 第37回北陸血管症例検討会 特別講演 金沢 2013. 10. 19
16. 血管外科におけるフットケアの重要性 糖尿病フットケア研究会 特別講演 大阪 2013. 10. 24
17. 末梢血管外科の現状と未来 末梢血管疾患治療を考える会 特別講演 神戸 2013. 11. 6
18. 閉塞性動脈硬化症の診断と治療 PADフォーラム 栃木 特別講演 宇都宮 2013. 11. 8
19. 血管外科からの取り組み 第8回 ASOフォーラム 大阪 2013. 11. 9
20. 足は動脈硬化の窓 間欠跛行を血管病早期発見のきっかけととらえる試み 第7回 岡山間欠跛行フォーラム 特別講演 岡山2013. 11. 27
21. 閉塞性動脈硬化症:いつ、どのように治療すべきか 第3回 Route 1 Conference in Osaka 特別講演 大阪 2013. 11. 28
22. Patient-centered strategy for peripheral arterial disease - How to save life and limbs - BEST 2013 ランチョンセミナー 大阪 2013. 12. 7
23. 重症下肢虚血に対するバイパス術の工夫 第6回 東海創傷治療フォーラム 特別講演 名古屋 2013. 1. 31
24. 脈管センターとしての血管外科へ 関西医科大学附属滝井病院の新たな取り組み 第132回大阪血管外科同好会 特別講演 大阪 2014. 2. 1
25. 大学病院新設血管外科としての新たな取り組み 第3回埼玉血管外科懇話会 特別講演 さいたま 2014. 3. 14
26. 静脈性浮腫 静脈瘤や深部静脈血栓症の診断と治療 第4回リンパ浮腫療法士教育セミナー 京都 2014. 3. 30

平成23年2月に、関西地区では初の血管外科単独診療科である関西医科大学附属滝井病院末梢血管外科がスタートしました。我が国では心臓外科と血管外科が一体となって発展してきましたが、残念ながら心臓外科が主体となっており、生理学的にも解剖学的にも心臓とは異なる血管の診療はややなおざりにされて来た感があります。近年のアテローム血栓症や Polyvascular Disease の概念の発展とともに血管病患者が世の中には非常に多くいらっしゃる、そのほとんどの方が適切な治療をうけられていない、ということがわかってきました。特に関西地区では血管病診療の核となるべき大学病院が存在しなかったこともあり、他地区に比べても患者さんが不幸な転帰をとることも少なくありませんでした。

当科はそのような血管病患者の受け皿となるべく診療を開始した訳ですが、初年度としてはかなり多くの患者さんをご紹介いただきました。まだまだマンパワーもシステムも十分ではありませんが、このご期待に答えられるよう今後も努力していく所存であります。血管病は一大学病院だけでは解決しません。発見からフォローアップまで地域の先生方、コメディカルとともに患者に向き合わなければならないと感じております。そのためには密な連携、お互いの顔がわかる協力体制が不可欠です。当報告も我々のありのままの成績をお伝えし、ご批判も敢えてお受けして今後の診療の改善につなげたいとの現れです。

当科は私駒井と山尾助教の2人でやりくりしております。まだまだ皆様のご期待には添えない状況も多々あるかと思いますがどうぞ長い目で見守ってください。いつも地域の先生方とともに邁進していく所存でございますのでどうぞよろしくお願い致します。



教授 駒井宏好



助教 山尾 順

関西医科大学附属滝井病院 末梢血管外科 (文責 部長：駒井宏好)

滝井病院 2016 年 リニューアルオープン



**KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL**